



株主・投資家への責任と行動

株主・投資家へのタイムリーかつ公平で正確な情報開示に努めています。
また株主様の権利を尊重し、議決権を行使しやすい環境を整えています。

情報開示

正確な情報を、公平に適時開示することが基本

当社の情報開示は株主・投資家をはじめとするステークホルダーに対し、情報を正確かつ公平、適時に開示することを、基本としています。

情報開示の方法は、当社が株式を上場している証券取引所の適時開示規則に従い、同規則に該当する情報を証券取引所の適時開示システムに公開します。これらの公開情報は、当社のホームページにも速やかに掲載し、一般投資家にも公平に伝達されるよう努めています。また、適時開示規則に該当しない情報も、当社を理解していただくために有効と思われる情報については、報道機関や当社ウェブサイトを通じて公開します。

当社の情報開示方針(ディスクロージャー・ポリシー)は、ウェブサイトに掲載しています。

ディスクロージャーとは?

企業が経営内容などの情報を公開すること。近年、粉飾決算や情報隠蔽といった問題の発生から、企業の誠実なディスクロージャーが重要視されています。

配当政策

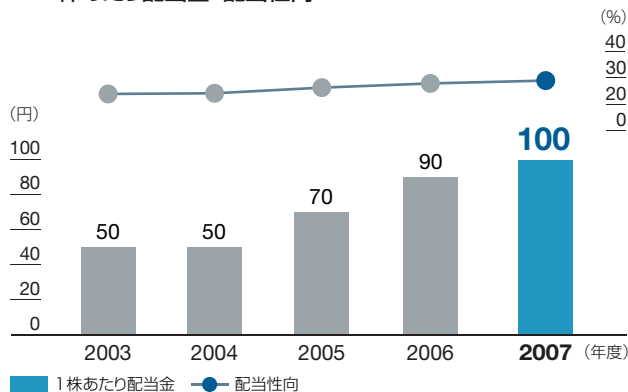
安定的増配を目標に

株主様への利益還元策としては、配当による成果の配分を優先的に考え、長期的な企業価値の拡大と企業体質の強化を図りながら、1株あたり利益を増加させることによって配当の安定的な増加に努めることを基本方針としています。

この方針に基づき、連結ベースでの業績と配当性向ならびに将来の発展のための再投資に必要な内部留保の蓄積などを総合的に勘案したうえで、配当による利益還元を実施しています。

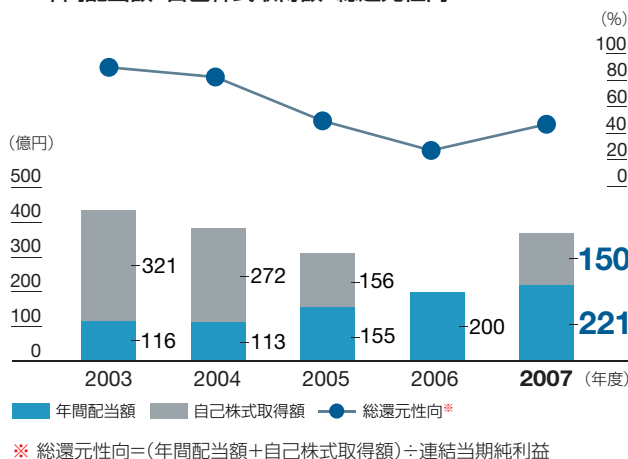
2007年度の1株あたりの配当金は、昨年度から10円増配の100円としました。2008年度も当期と同額の1株あたり100円を予定しています。

1株あたり配当金・配当性向



また、当社は資本効率の改善を目的に自己株式の取得を適宜実施しており、2007年度は15,000百万円、2,595,000株の自己株式を取得しました。

年間配当額・自己株式取得額・総還元性向



株主総会への出席と議決権行使の推進

招集通知の早期発送などによる議決権行使率の向上

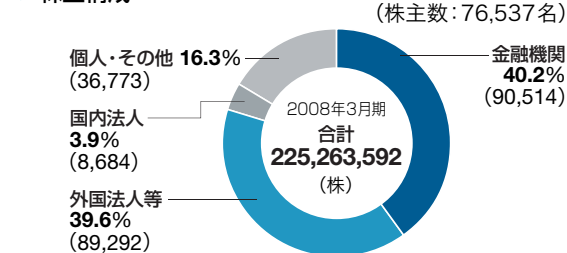
村田製作所では、個人株主をはじめ、外国人株主や機関投資家の皆様、議決権を行使しやすい環境を整備し、多くの株主の声を経営に反映させるさまざまな工夫をしています。

株主総会の案内については、法定の2週間前を大幅に超える約4週間前に招集通知を発送し、議決権行使の検討・準備のための便宜を図っています。また、招集通知を英訳し、ホームページにも掲載しています。

さらに、インターネットを介して議決権を行使していただけるよう、パソコン、携帯電話からアクセスできる専用サイトも設けています。加えて、機関投資家の議案検討の利便性を高め、適確に権利行使ができる「議決権電子行使プラットフォーム」にも参加しています。

なお、株主総会では、図表・写真などを用いたわかりやすい説明やムラタセイサク君®のデモンストレーションなどで、親しみやすさを演出しています。

株主構成



2007年7月
ニューヨークでの
会社説明会



株主総会以外でのコミュニケーション

国内外で定期的に説明会を開催

アナリスト・機関投資家にムラタの経営状況や事業戦略を理解していただくため、定期的に説明会を開催しています。

年1回の会長および社長による会社説明会をはじめ、年4回、担当役員による決算説明会を開催しています。

海外の投資家に対しては、欧米で会長および社長による会社説明会を年1回実施しています。

また、株主・投資家に公平、迅速に情報開示するため、当社ホームページの「投資家情報」コーナーに、決算短信・決算説明会資料、会社説明会資料、有価証券報告書、アニュアル・レポート、適時開示情報などを掲載しています。

これらのIR活動が評価され、2007年には社団法人日本証券アナリスト協会ディスクロージャー研究会からディスクロージャーの改善が著しい企業として称賛状をいただきました。



個人投資家向けサイト

2007年度決算説明会

2008年4月30日
株式会社村田製作所



決算説明会資料

2007年6月開催の
第71回定時株主総会



アニュアルレポート

Murata Manufacturing Co., Ltd.

2008 Annual Report
Year Ended March 31, 2008



代表取締役社長 村田恒夫

投資家は、主に建物や生産設備への投資が減少することから、75,000万円を計画しております。

株主還元について
株主への利益還元としては、配当による配分の割合を強化し、長期的な企業価値の拡大と株主の利益を両立させ、1株当たり利益を増加させることにより配当の充

ごあいさつ

株主の皆様には、ますますご愛顧のほどを御礼申し上げます。また、貴方（平成19年3月期）の御意見を御礼申し上げます。また、当社グループの業績概況についてご報告申し上げます。

当期の業績について

当社の電子機器事業は、半導体市場、通信の季節性に加えて、一部の市場で弱体化したものの、堅実な経営により、売上高を伸ばしました。また、デジタルVHS機器など主要機器の生産電子機器の生産体制が進展したことにより、電子製品の生産体制が強化されました。

また、半導体市場では、半導体市場の不振により、半導体製品の生産体制が強化されました。また、半導体製品の生産体制が強化されました。



報告書

人々とムラタ